

大腸がん検診

大腸がんは全がんのうち罹患数(2019年)が1位、死亡数(2021年)が男性2位、女性1位と日本人にとって非常に重要ながんです。

便潜血検査とは

進行大腸がんでは表面から血液が染み出ることがあり、早期がんやポリープでも便が移動し擦れることによりわずかな出血が起こります。便を採取し出血を見つけることが大腸がんの発見につながります。より確率を上げるために2日間行います。

対象年齢は

40・45・50・55・57・59・61～70・72・74歳の方です。

便潜血陽性の方は

大腸がんは毎日出血しているわけではありません。2日間のうち1日でも陽性の場合には精密検査を受けてください。痔や炎症でも陽性になることはありますが、思い込みが大腸がんの発見を遅らせてしまうことがあります。